

実践⑥

「“きっかけ”から繋がりへ」

いたの共同作業所あせび

平野慶子

令和元年九月



👑 エシカル消費

人・社会への配慮
地域への配慮
環境への配慮

誰かのために
社会のために
地元のために
地球のために

フェアトレード商品
障がい者が作った商品
地産地消
食品ロス削減
オーガニック商品

皆さん、今日は、町内で障がいを持つ方が、自分たちのペースで働くことができる施設『いたの共同作業所あせび』の所長である「平野さん」のお話を聞いてみましょう。それでは、よろしくお願いします。

こんにちは、平野です。私たちは、障がいを持つ方が、自分なりの働き方で社会に貢献しながら自立できることを目標に、役場の東側にある『いたの共同作業所あせび』で障がい者の就労支援を行っています。

作業所では、シール貼りや造花作りなどの他、“板野町で採れるもので商品を作りたい！”という想いから、町内の農家に協力を得て、頂いた旬の野菜や果物で、お菓子の製造や販売も行っているんですよ♪

ところで、作業所では、自分たちでお昼ご飯を手作りしているのですが…それには「フードバンクとくしま」から頂いた材料を使っています。また、エシカル消費を知ってからは、買い物をするとき、消費期限が短いものを選んだり、大量買いはしないなど、食品ロスの削減にも気を付けています。ほかに、今まで知らなかったフェアトレードやオーガニック商品などもお店で気にして見るようになりました。

私たちがエシカル消費を知ったのは、消費生活相談所の夏休み課題に応募した「職場の娘さんの作品」が、あさんウォーキングフェスタで展示されたことがきっかけでした。私たちが食品ロスやフェアトレードなどを知ったように、皆さんにもエシカル消費をきっかけに、『いたの共同作業所あせび』や『障がい者が作った商品』のことを知って理解してもらい、もっと地域の方たちとの繋がりを作りたい！と思っています♪

平野さん、ありがとうございました。皆さんの活動が何かをきっかけに、繋がりをもてたらいいですね。

来月も、エシカル消費を実践している方のお話を掲載しますので、ぜひご覧ください。

板野町は、エシカル消費を推進しています。

お問い合わせ 役場産業課 ☎672-5994

【ひとくちメモ】

※「フードバンクとくしま」は、包装が破損したり賞味期限が近づいた食品を企業等から寄贈してもらい、福祉施設などへ届ける活動を行っています。

いたの共同作業所あせびの取り組み ☎672-4721

あせび作業所では、農家の方から頂いたにんじんなどでパウンドケーキやクッキー作り、さつまいもでスイーツ作りなどを行っています。注文に応じて販売している他、役場のふれあいホールでも定期的に販売を始めました。これからは、毎月のおすすめメニューを決めて、販売をしていきたいです♪



『おかしの家あせびでの製造』



『今月のおすすめ商品』



『役場での販売』

ある日の先生

先月のメガネ事件をきっかけに、夫との関係が良くない…。

う〜ん…はあ。

大好きなトンカツも美味しくなないなあ。



『エシカル消費』とは、人・社会・地域・環境などに配慮した商品を選択することです。